

2023（令和5）年度東北大学法科大学院入学試験 一般選抜（後期）  
試験科目：民事法（民法）

以下の【第1問】から【第4問】までのすべての問いに答えなさい。

【第1問】（解答は8行程度で行いなさい。）

AはBの自宅に招かれ、そこでCと出会った。Cは、その場にはいないDが所有する甲土地（時価100万円）を1億円で買わないかとAに持ちかけた。Aは断りたかったが、AとCとの会話に途中からBも参加し、BがCの面前でAに対して詐欺を行った結果、Aは、Dの代理人と称するCとの間で、DがAに甲土地を代金1億円で売却する旨の契約（本件売買契約）を締結した。CはDから甲土地の売却に関する代理権を授与されていた。この場合において、Aは本件売買契約を締結する旨の意思表示を取り消すことができるか、論じなさい。

【第2問】（解答は3行程度で行いなさい。）

譲渡担保が有する、典型担保にはない利点について、簡潔に説明しなさい。

【第3問】（解答は5行程度で行いなさい。）

相続放棄は相続人の債権者による詐害行為取消権行使の対象となりうるか、論じなさい。

【第4問】（解答は12行程度で行いなさい。）

Gは、妻Eと夫Fの子である。Fが死亡し、Gは、Fの相続により、乙土地を取得した。Eは、近所の小売店でパート勤務をして生活費を稼ぎながら、Gと2人で暮らしていた。Gの高校入学に当たり、その準備の費用がかさんだため、Eは、Hから100万円を借り入れ、借り入れた100万円の返還債務を担保するために、Gを代理して、乙土地にHのために抵当権を設定し、その設定登記をした。その後成人したGは、Hに対して、乙土地の抵当権は無効であるとして、その設定登記の抹消を求めることができるか、論じなさい。EがHに対して負う貸金返還債務は履行されていないものとする。

以上